



4つて子応援団



授業のようす

ドッグトレーナー・トリマーの説明



教室には、講師の方が連れてきてくださったダックスフントのメアちゃんと、トイプードルのシエルちゃんが登場し、子どもたちは一気に笑顔になりました。実際のワンちゃんを前に、「ダックスフントはどこから来た犬でしょう」という問いかけにも積極的に答えていました。お話の中心は“しつけ”の本当の意味へ。お手やおかわりを教えることではなく、人と犬が安心して暮らすためのルールを伝えることがトレーナーの大切な役割だと知り、子どもたちは深くうなずいていました。犬にも個性があり、まさに“十犬十色”。2匹の可愛らしい姿に癒されながら、動物と向き合う仕事の奥深さを感じる時間となりました。



【 6年生のキャリア教育 】

～未来の自分がかんがえてみよう！～

社会にはどんな職業があるのか聞いてみよう

平素は4向小ならびに校区諸団体の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、1月24日（土）3・4校時の授業において、6年生を対象としたキャリア教育を実施しました。このキャリア教育は平成29年にスタートし、今年で9回目を迎えました。

初年度は9つの業種から始まったこの取り組みも、講師の方々のご協力によって発展し、今では他校からも「とても良い活動だ」と注目されるまでになりました。

今年度も、6年生を対象に11業種の講師の方々をお招きし、働く人の思いや工夫、やりがいについてお話しいただきました。子どもたちは興味をもった職業を2つ選び、取材メモを手に真剣な表情で耳を傾けていました。実際に働く方々との交流を通して、職業の魅力や大変さを知り、自分の将来を考える大切なきっかけになったことと思います。

多くの皆さまに支えられて続けてきたこの活動は、4向小の誇りです。

「学ぶこと」「働くこと」「生きること」を子どもたちが自分ごととして捉え、未来へつなげてくれることを願っています。

今回学んだ職業紹介

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 薬剤師 | 6. 航空整備士 |
| 2. 看護師（NICU） | 7. 銀行員 |
| 3. 自動車整備士 | 8. ドッグトレーナー・トリマー |
| 4. 消防士 | 9. 鉄道運転手 |
| 5. 調理師 | 10. 鍼灸師・柔道整復師 |
| | 11. 看護師 |

講師のみなさま お忙しい中ご協力ありがとうございました。



～ 次年度も活動継続します ～

学校支援ボランティアさんを募集します！

子どもたちの学びの場を支える活動に参加しませんか？授業支援、環境整備活動などこれから様々な支援を企画していきますので、是非みなさんのお力を活かしてください！

【お問合わせ】第4向陽小学校 横井教頭・青野教務主任（TEL075-933-3388）

看護師（NICU：新生児集中治療室）の説明



赤ちゃんは通常37～41週目、約3kgで生まれますが、すべての赤ちゃんが健康とは限りません。中には25週・わずか260gで生まれる赤ちゃんもいます。授業では300gの赤ちゃん、500gの赤ちゃんと同じくらいの大きさのキューピー人形を見せてもらい、その小ささに子どもたちは思わず息のみみました。NICUの看護師さんは、お母さんの代わりとなって小さな命を守り、昼夜交代で赤ちゃんを支えています。今回は、赤ちゃんの脈を確認する方法も体験。聴診器での確認や、へその緒の脈を見る方法、新生児蘇生トレーニング人形とアンビューバッグを使った“Cの手”の実技にも挑戦しました。未来へつなげる命を守る仕事の重さと尊さを、子どもたちは感じ取っていました。



薬剤師の説明

薬剤師は病院や薬局で処方せんに基づいて薬を調剤し、正しい飲み方や効能をわかりやすく伝える仕事です。授業では、実際に調剤で使う道具を見せてもらい、薬をジュースで飲むと効果が弱まったり副作用が出ることがあると知り、子どもたちは驚いていました。「水とお湯、どちらで飲むのが良いか」「サプリメントの注意点」など、身近な疑問にも丁寧に答えていただきました。薬剤師は薬の管理や点滴の調製、新しい薬の情報提供など幅広い業務を担い、最近はAIを活用した仕事も増えているそうです。6年間の薬学部での学びと、国家試験を経てなる専門職の責任の重さを知ることができました。



銀行員の説明

授業ではまず「銀行ってどんなところ？」という問いかけから始まり、ATMを使ったことがある子どもも多く、興味津々の様子でした。銀行の種類や利息、為替など、お金がどのように動いているのかわかりやすく教えていただきました。銀行員が最も大切にしているのは「お客様との信頼関係」。約束を守り、安心して任せられるよう日々努力しているという言葉に、子どもたちも真剣に耳を傾けていました。授業では模擬紙幣を使ったお札の数え方にも挑戦。実際に体験した記念として、模擬紙幣のプレゼントもあり、子どもたちは大喜びでした。講師の方の上海でのお仕事の経験から、国際取引の話にも飛び、世界とつながる銀行の仕事の奥深さを感じる事ができました。



裏面もみてね⇒

自動車整備士の説明

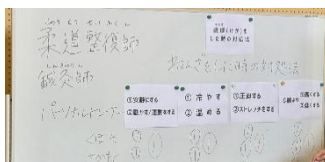


自動車整備士は“車のお医者さん”。整備や点検、修理を通して車の安全を守り、人の命を支える大切な仕事です。整備士には1~3級の資格があり、全国40万人のうち1級整備士はわずか3%という専門性の高い国家資格であることも教えていただきました。授業では、故障診断に欠かせない“電気”について体験。目に見えない電気をどう測るのか、自分たちの体の電気抵抗を使って実験しました。手の水分量で電流の流れ方が変わることや、男女で違いがあることに子どもたちは驚きの表情。みんなで手をつないで電気の流れを確かめ、手を離すと電気が途切れる様子に「なるほど！」と声が上がりました。車の安全を支える技術の奥深さを実感できる、学びの多い時間となりました。



鍼灸師・柔道整復師の説明

向日市の鍼灸整骨院「TREE」から、柔道整復師・鍼灸師・スポーツトレーナーとして活躍されている先生に来ていただきました。授業では、捻挫したときの応急処置「RICE（安静・冷却・圧迫・挙上）」や、より進んだ「POLICE（保護・適切な負荷・冷却・圧迫・挙上）」の考え方を教えていただき、スポーツ時のケガへの備えを学びました。また、鍼で身体の治る力を高める仕組みや、よもぎから作られる“もぐさ”の話もあり、東洋医学の奥深さに興味津々。骨の数が大人は約206個、子どもは約305個あること、筋肉は約540個あることなど、体の不思議もたくさん紹介していただきました。スポーツと医療につながる仕事に、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。



航空整備士の説明



誰の紙ヒコーキが一番遠くまで飛ばせるか競争！

航空整備士は、飛行機の機体やエンジンの整備・点検・修理を行い、安全で快適な空の旅を支える専門職です。講師の方は航空専門学校で学び資格を取得されました。「なぜ飛行機は空を飛べるのか？」という素朴な疑問が、この仕事を目指すきっかけになったそうです。授業では、飛行機が浮く仕組みである「ベルヌーイの定理」をわかりやすく紹介していただき、その原理を使った“よく飛ぶ紙ヒコーキ”の作り方も教えてもらいました。子どもたちは教室の端からどれだけ遠く飛ばせるか競い合い、大盛り上がり。さらに「飛行機が一番安全な座席は後方」「揺れにくいのは中央付近」など、旅に役立つ豆知識も教えていただきました。空の安全を守る仕事の奥深さに、子どもたちは興味を深めていました。



看護師の説明



脈とりまーす！

看護師になるには、高校卒業後に大学や短大、専門学校で学び、看護師国家試験に合格する必要があります。看護師と准看護師の違いについても教えていただき、現場ではどちらも患者さんのために同じように働いていることを知りました。授業では、ナイチンゲールの「生命力が消耗しないよう助ける」という看護の原点にも触れ、看護師には誠実さ・正直さ・観察力・人間性が大切だと学びました。体験では、実際に脈をとる方法に挑戦。手首の親指側から2センチ下を3本の指で押さえ、1分間測定します。子どもたちは自分の脈の回数を発表し合い、正常値が50~90回であること、スポーツをしている人は脈がゆっくりになること、脱水すると脈が速くなることなどを知り、体の仕組みに興味を深めていました。

調理師の説明



↑できたてオムライスにうっとり…食べたい気持ちが止まらない！実演だけで味わえない分、思いきり香りを楽しんでいました。

長岡京市の洋食屋「くるくる」の調理師さんに来ていただき、子どもたちが大好きな“オムライス作り”を実演してもらいました。教室には香ばしい匂いが広がり、「おいしそう」「食べたい！」と大盛り上がりでした。調理師さんは、さまざまなお店で経験を積み、「いつか自分のお店を持ちたい」という夢を叶えて洋食屋を開業されたそうです。実演では、チキンライスの味付けのポイントや、ふわとろ卵に仕上げるプロのコツを教えていただき、子どもたちはメモをとっていました。お店の一番人気はハンバーグとエビフライだそうです。料理の楽しさと、夢を形にする努力の大切さを感じることができました。



鉄道運転手の説明

電車の運転手になるには、しっかり勉強して「甲種電気車運転免許」という国家資格を取得する必要があります。最近では女性の運転手も増えているようで、子どもたちは興味津々でした。多くの人の命を預かる仕事のため、責任感と正確さが欠かせません。授業では、秒単位で管理された時刻表を見せてもらい、その細かさには子どもたちは驚きの声。さらに、ブレーキをかけるタイミングを判断するための制動距離の計算方法も教えていただきました。時速100kmなら500m手前からブレーキをかけるという説明に、みんな真剣に耳を傾けていました。ちょうど教室の廊下から阪急電車が見えるため、実際に時刻表どおりに通過する様子を確認し、運転手さんの技術の高さを実感。運転手専用の時刻表が入った端末も見せてもらい、電車を動かす仕事の奥深さを学びました。



消防士の説明

向日消防署の消防士さんに来ていただき、消火・救助・救急など、人の命を守るための幅広い仕事についてお話を伺いました。消防署は3つのチームで構成され、24時間交代制で月10日勤務という働き方にも子どもたちは驚いていました。出勤時に身につける防火服は約10kg、空気呼吸器を含めると20kg以上。その重さを実際に体験し、「この装備で走るなんてすごい！」という声が上がりました。消防士さんは日頃から訓練を重ね、どんな現場でも冷静に対応できるよう身体も心も鍛えているそうです。さらに、救急隊の訓練内容も紹介していただきました。心臓マッサージの練習や、動かない車を使ったドア破壊の救助訓練、そして実際に長岡天満宮の池に人形を沈めて行う水難救助訓練の話には、子どもたちも真剣な表情に。身近な場所でそんな訓練が行われていることに驚きつつ、命を守るための努力を実感していました。災害時には全国から応援が集まる「緊急消防援助隊」の仕組みも教えていただき、消防士の仕事が地域だけでなく広く社会を支えていることを学びました。



↑「消防士さん vs 6年生！」腕相撲で体力勝負！頼もしい腕に挑む子どもたち。教室中が大歓声！